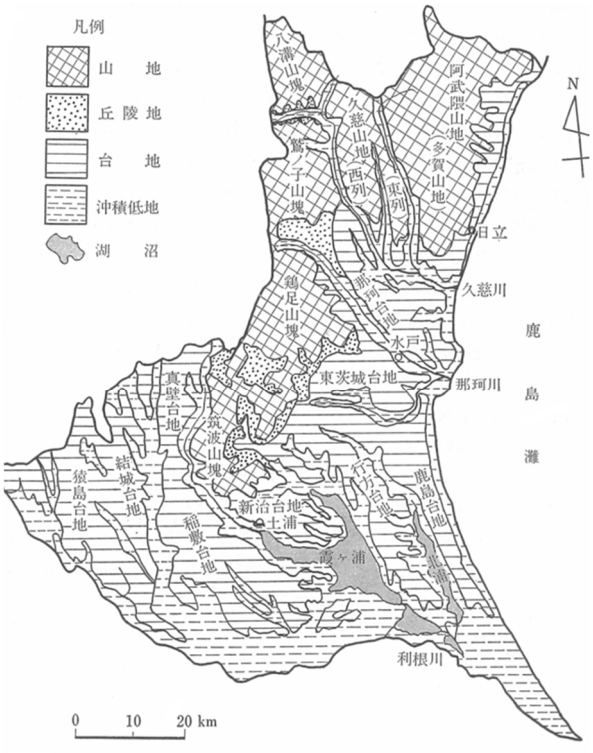
北茨城市の地勢と気象



北茨城市は、茨城県の県北地域にあり、最も北に位置する。北は福島県(鮫川村、いわき市)に、南は高萩市に、西は福島県(塙町)に接している。市の東側は太平洋に面しており、市の北西部から南東部にかけて花園川が、市の南部を大北川が流れている。花園川は、高萩市と福島県との県境に位置する栄蔵室と花園山の北側付近を水源とする二級河川(県管理)で、流路の水沼ダム(北茨城市華川)を経て、北茨城市で大北川と合流する。大北川は、常陸太田市と福島県との県境に位置する三鈷室山を水源とする二級河川(県管理)で、流路の小山ダム(高萩市横川)を経て、北茨城市で太平洋に注ぐ。

地形は、海沿いが沖積低地で内陸側は台地、市の大半が山地(多賀山地／阿武隈高地南部)で、市の北西部に集中している。主な山としては、市の北部に高帽山(標高 431m)や鷹巣山(標高 559m)が、市の北西部には、和尚山(標高 804m)、栄蔵室(標高 881m)、花園山(標高 798m)などがある。

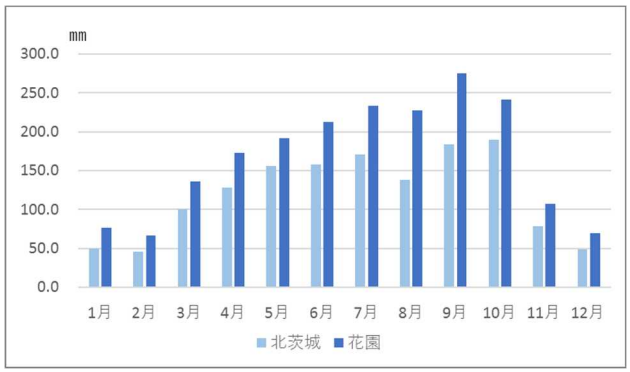


茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

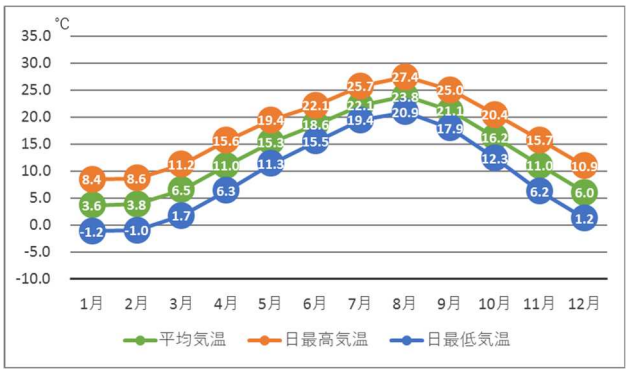
気候は、太平洋側気候で、東部沿岸地域では海岸気候の特徴を、山岳地域では山岳気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。沿岸地域では、黒潮等の海洋の影響を受け、気温変化が小さく温暖で湿度が高い。また、海岸では強い風が吹きやすい。山岳地域では、複雑な地形の影響を受けるため、気候の地域差が著しい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値は、沿岸地域(北茨城)で 1435.4 ㎜、山岳地域(花園)では 1995.3 ㎜である。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −5° C 以下となることもあるが、平年の気温(北茨城)は、夏季の日最高気温が 27.4℃、冬季の日最低気温が −1.2℃で、年平均気温は 13.2℃である。



北茨城と花園の降水(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値



北茨城の気温(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値

北茨城の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=0315&year=&month=&day=&view=
花園の平年値・極値はこちらから
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=0314&year=&month=&day=&view=